



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月5日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 小河 義美
 (氏名) 廣川 正彦

TEL 03-6711-8121

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	312,791	△12.4	22,641	△49.5	24,277	△49.4	4,647	△86.0
2019年3月期第3四半期	356,936	3.2	44,795	△2.9	47,937	△2.4	33,075	16.1

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,275百万円 (△73.5%) 2019年3月期第3四半期 31,191百万円 (△29.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	14.36	—
2019年3月期第3四半期	98.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	616,134	404,895	61.0	1,182.96
2019年3月期	654,791	423,243	60.1	1,198.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 375,715百万円 2019年3月期 393,597百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2020年3月期	—	16.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	△9.7	31,000	△39.4	32,500	△39.2	7,000	△80.2	22.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	331,942,682 株	2019年3月期	331,942,682 株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	14,336,777 株	2019年3月期	3,609,174 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	323,574,146 株	2019年3月期3Q	336,507,943 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米中貿易摩擦の深刻化、中国景気の減速、日韓関係の悪化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような状況の中、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高3,127億91百万円（前年同期比12.4%減）、営業利益226億41百万円（同49.5%減）、経常利益242億77百万円（同49.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、火工品事業で136億79百万円の特別損失を計上したことにより、46億47百万円（同86.0%減）となりました。

特別損失、業績予想の修正につきましては、本日発表の「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」もご参照ください。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、たばこフィルター用途の販売数量が減少し、減収となりました。

たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客でのシェア拡大や新規顧客開拓に取り組み、販売数量は増加したものの、為替や販売構成差の影響により、減収となりました。

当部門の売上高は、561億61百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は、酢酸セルロースの販売数量の減少などにより、83億17百万円（同35.7%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸及び合成品は、市況の下落および中国の景気減速の影響による国内外の販売数量の減少により、減収となりました。

機能品は、需給の逼迫が続いている脂環式エポキシの販売数量が増加したものの、中国の景気減速などの影響により自動車分野、電子材料分野、化粧品分野での需要が減少し、全体としては、減収となりました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、充填剤の販売が減少したものの、新規事業が順調に伸びたことなどにより、売上高は横ばいとなりました。

当部門の売上高は、606億60百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は、製品市況の下落などにより、75億11百万円（同34.4%減）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチック事業は、中国の景気減速による自動車生産台数の減少やスマートフォンの需要低迷の影響により、減収となりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、中国の景気減速の影響などにより、販売数量が減少し、減収となりました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に高機能フィルムの販売が増加したものの、シートなどの販売が減少したことにより、減収となりました。

当部門の売上高は、1,266億45百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は、販売数量の減少などにより、154億82百万円（同8.7%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などの自動車安全部品事業は、新車用通常ビジネスにおいては、国内や中国市場での拡販により、販売数量は増加しましたが、他社リコール代替品供給が終息に向かっており、全体としては販売数量が減少し、減収となりました。

防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の増加などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、619億47百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益は、自動車エアバッグ用インフレータの他社リコール代替供給の縮小により、29億31百万円（同80.1%減）となりました。

[その他部門]

その他部門は、前年度に買収した海外の製剤事業会社が寄与したことなどにより、増収となりました。

当部門の売上高は、73億76百万円（前年同期比30.7%増）、営業利益は、のれん償却負担の増加により、2億91百万円（同20.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、有形固定資産等の増加がありましたが、現金及び預金やたな卸資産等の減少により、前連結会計年度末に比し386億57百万円減少し、6,161億34百万円となりました。

負債は、主に社債や支払手形及び買掛金等の減少により、前連結会計年度末に比し203億8百万円減少し、2,112億39百万円となりました。

また純資産は、4,048億95百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、3,757億15百万円となり自己資本比率は61.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、前年同期比減収減益の業績予想のなかで、さらなるコストダウンなどに取り組んでいるものの、中国経済悪化の影響などにより、有機合成事業、合成樹脂事業の需要が想定より低調に推移したことや、火工品事業での特別損失の計上などにより、想定を下回る結果となりました。第4四半期の需要も同様の状況が続く見通しであることや、第3四半期で計上した特別損失について追加計上が見込まれることを踏まえ、通期連結業績予想を下記の通り下方修正いたしました。

なお、新型コロナウイルスによる影響は織り込んでおりません。

<2020年3月期の連結業績予想>

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	431,000	36,000	38,000	21,500	66円65銭
今回修正予想 (B)	420,000	31,000	32,500	7,000	22円04銭
増減額 (B-A)	△11,000	△5,000	△5,500	△14,500	
増減率 (%)	△2.6	△13.9	△14.5	△67.4	
(ご参考) 前期実績	464,859	51,171	53,433	35,301	105円38銭

※1. 業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

※2. 今回発表予想の第4四半期以降の前提につきましては、為替相場は105円/US\$、メタノールアジアスポット価格は、US\$260/ton、ドバイ原油価格はUS\$60/bbl、国産ナフサ価格は、42,000円/k1を想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	114,044	81,688
受取手形及び売掛金	90,173	85,179
有価証券	6,230	1,028
たな卸資産	126,153	117,939
その他	17,504	22,507
貸倒引当金	△67	△101
流動資産合計	354,038	308,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	60,387	60,612
機械装置及び運搬具(純額)	72,920	69,084
土地	26,931	29,364
建設仮勘定	31,630	43,578
その他(純額)	5,561	5,116
有形固定資産合計	197,432	207,756
無形固定資産		
のれん	3,832	3,229
その他	8,835	8,269
無形固定資産合計	12,668	11,499
投資その他の資産		
投資有価証券	68,018	69,099
その他	22,802	19,591
貸倒引当金	△167	△54
投資その他の資産合計	90,652	88,636
固定資産合計	300,753	307,891
資産合計	654,791	616,134

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,933	49,333
短期借入金	9,965	5,678
1年内償還予定の社債	10,000	—
1年内返済予定の長期借入金	8,285	9,447
未払法人税等	4,008	1,436
修繕引当金	2,828	27
その他	36,487	39,431
流動負債合計	125,509	105,355
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	36,043	34,917
繰延税金負債	7,673	8,068
役員退職慰労引当金	55	58
修繕引当金	13	656
環境対策引当金	5,265	4,791
退職給付に係る負債	12,430	10,940
資産除去債務	1,256	1,234
その他	3,298	5,215
固定負債合計	106,038	105,883
負債合計	231,547	211,239
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,692	31,692
利益剰余金	294,149	288,358
自己株式	△4,344	△15,650
株主資本合計	357,772	340,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,024	30,171
繰延ヘッジ損益	13	△25
為替換算調整勘定	4,968	2,800
退職給付に係る調整累計額	1,817	2,093
その他の包括利益累計額合計	35,825	35,040
非支配株主持分	29,645	29,179
純資産合計	423,243	404,895
負債純資産合計	654,791	616,134

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	356,936	312,791
売上原価	251,505	229,113
売上総利益	105,430	83,678
販売費及び一般管理費	60,634	61,036
営業利益	44,795	22,641
営業外収益		
受取利息	256	334
受取配当金	1,737	1,351
持分法による投資利益	1,274	1,309
為替差益	231	—
その他	1,484	981
営業外収益合計	4,984	3,976
営業外費用		
支払利息	907	908
為替差損	—	865
その他	935	566
営業外費用合計	1,842	2,340
経常利益	47,937	24,277
特別利益		
固定資産処分益	10	42
投資有価証券売却益	2,991	2,520
関係会社出資金売却益	290	—
受取保険金	1,028	—
特別利益合計	4,321	2,563
特別損失		
固定資産除却損	1,096	979
減損損失	—	※ 13,679
災害による損失	692	—
特別損失合計	1,789	14,658
税金等調整前四半期純利益	50,469	12,182
法人税、住民税及び事業税	10,858	3,130
法人税等調整額	920	△467
法人税等合計	11,779	2,663
四半期純利益	38,689	9,519
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,614	4,871
親会社株主に帰属する四半期純利益	33,075	4,647

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	38,689	9,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,467	1,172
繰延ヘッジ損益	△19	△68
為替換算調整勘定	△870	△2,315
退職給付に係る調整額	160	301
持分法適用会社に対する持分相当額	△300	△333
その他の包括利益合計	△7,498	△1,243
四半期包括利益	31,191	8,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,687	3,862
非支配株主に係る四半期包括利益	5,504	4,413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、独立掲記しておりました「営業外費用」の「環境対策引当金繰入額」は金額的重要性が乏しくなったため、当第3四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替を行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「環境対策引当金繰入額」に表示していた298百万円は、「その他」として組み替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上いたしました。

当第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

場所	用途	種類	金額（百万円）
日本 (兵庫県たつの市)	自動車エアバッグ用インフレーター製造設備及びガス発生剤製造設備	建物及び構築物	1,447
		機械装置及び車両	1,599
		工具器具備品	368
		建設仮勘定	1,098
		無形固定資産その他	512
	防衛事業製造設備	建物及び構築物	307
		機械装置及び車両	70
		工具器具備品	13
		建設仮勘定	33
		無形固定資産その他	66
	共用資産	土地	409
		建物及び構築物	431
		機械装置及び車両	157
		工具器具備品	30
		建設仮勘定	111
日本 (兵庫県姫路市)	防衛事業製造設備	建物及び構築物	58
		機械装置及び車両	32
		工具器具備品	2
米国	自動車エアバッグ用インフレーター製造設備及びガス発生剤製造設備	建物及び構築物	1,462
		機械装置及び車両	1,743
		工具器具備品	158
		建設仮勘定	3,543
計			13,679

(グルーピングの方法)

当社グループは、カンパニー及び事業部を最小の単位として資産のグルーピングを行っております。

(減損損失の認識に至った経緯)

1. 日本及び米国のインフレーター事業において、収益性の低下等により投資額の回収が困難であると認められるため、播磨工場及び米国の事業用資産及び共用資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

2. 防衛事業において、収益性の低下等により投資額の回収が困難であると認められるため、播磨工場及び網干工場の事業用資産及び共用資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

(回収可能価額の算定方法)

回収可能価額は、正味売却価額により測定しており、主として不動産鑑定評価額により算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	64,470	68,380	135,257	83,183	351,292	5,644	356,936	—	356,936
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,050	16,077	14	—	18,142	8,299	26,442	△26,442	—
計	66,520	84,458	135,272	83,183	369,435	13,943	383,378	△26,442	356,936
セグメント利益	12,933	11,455	16,960	14,697	56,047	368	56,416	△11,620	44,795

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△11,620百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	56,161	60,660	126,645	61,947	305,414	7,376	312,791	—	312,791
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,995	11,299	4	—	13,299	8,100	21,400	△21,400	—
計	58,157	71,959	126,650	61,947	318,714	15,477	334,192	△21,400	312,791
セグメント利益	8,317	7,511	15,482	2,931	34,243	291	34,534	△11,892	22,641

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△11,892百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究および管理部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位：百万円)

	セルロース 事業	有機合成 事業	合成樹脂 事業	火工品 事業	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	13,679	—	—	13,679